

# 平成27年度小松島市事務事業評価シート

<b>■事業の位置づけ（基本事項）</b>				<b>整理番号</b>	5 - 2 - 10
<b>事務事業名</b>	ごみ袋関係経費			<b>担当課係</b>	市民生活課 環境企画・公害担当
<b>総合計画上の位置付け</b>	<b>大項目</b>	2. 「安心」のまちづくり		<b>記入担当者</b>	
	<b>中項目</b>	③生活環境への阻害要因の減少		<b>内線等</b>	
	<b>小項目</b>	1. 環境への負荷の少ない循環型都市の構築		E-mail	
<b>事業の実施主体</b>	市（委託・補助事業含む）			<b>事業区分</b>	経常事業
<b>事業予算費目</b>	<b>款</b>	4 衛生費	<b>項</b>	2 清掃費	
	<b>目</b>	4 環境対策総務費	<b>事業</b>	2 ごみ袋関係経費	
<b>開始年度</b>	平成 6	<b>年度</b>	根拠法令・要綱等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律第6条の2 小松島市における廃棄物の処理及び清掃に関する条例	

<b>事業の対象</b>	(誰の、何のために事業を実施するのか) 各家庭から排出されるごみの分別収集や収集時の安全確保等のため、市指定ごみ袋を製造する。
<b>事業の目的</b> (意図)	(事業実施によってどういう状態にしたいのか) 指定ごみ袋の利用により、ごみの分別収集やリサイクル意識の向上を図ることなどで、家庭ごみの排出抑制に努める。また、袋の厚さの指定や種別ごとの袋を作成することで、作業員の収集時の安全確保や作業の効率化を図る。
<b>事業の内容</b> (内容・手法等)	(どういった仕事の内容で、どのような手法・手順で実施しているか) ごみ袋の強度や利便性を維持しつつ、指名競争入札により製造を行う。
<b>事業の背景</b> (経緯等)	(事業開始の背景やこれまでの経緯) ごみの分別収集の徹底や、リサイクル、ごみの減量化意識の向上に加え、収集時の安全確保等も考慮するなかで、平成6年度より指定ごみ袋制度を導入している。

## ■事務事業の業績・推移（目標・実績）

成果指標	指標名			指標の説明				指標化できない成果
	ごみ処理実績			一般廃棄物の年間処理量				
	単位	H26	H27	H28	H29	目標年度	目標値	
t	目標	14,830	14,689	14,551				ごみの分別や減量化、リサイクルに関する市民の意識
	実績	14,938	14,434					
	達成度	99.3%	101.8%					

  

活動実績・参考となる指標	指標名	単位		H26	H27	H28	H29	指標の説明
	可燃ごみ焼却量		t	計画	12,325	12,207	12,088	11,970
実績				12,544	12,064			
資源ごみ		t	計画	783	782	781	779	
			実績	678	657			
不燃ごみ処理量		t	計画	1,722	1,700	1,682	1,663	
			実績	1,716	1,713			
			計画					
			実績					

## ■事務事業に係るコストの業績（目標・実績）

（単位：円）

		26年度決算	27年度決算	27年度予算	28年度予算		
全体コスト（円）	関連事業費	A 直接事業費	30,874,681	38,972,976	52,392,000	48,471,000	
		財源内訳	国県支出金				
			地方債				
			利用者負担	30,874,681	38,972,976		
	B 一般財源						
	B 人件費 ①×②	2,651,360	4,002,122				
	職員平均人件費①	6,628,400	6,670,204				
	従事した割合②/人	0.40	0.60				
	A + B	33,526,041	42,975,098				
	単位コスト	活動指標の説明	ごみ処理実績 14,938 t	ごみ処理実績 14,434 t			
	活動指標1単位当たりコスト	2,244	2,977				
	市民一人あたりのコスト	831	1,078				
					<b>備考</b> 平成26年4月1日現在 人口40,333人 平成27年4月1日現在 人口39,866人		

■事業を取り巻く環境

国・県・他団体の動向や環境変化と今後の予測	(社会状況、法改正、規制緩和、周辺の状況等や今後の予測) ごみ問題は、排出者の責任や生産者の製造責任を問われる時代へと移ってきており、生産者は分別廃棄が容易な製品やリサイクル可能な製品設計に取り組んだり、店舗では製品の個別回収に取り組む事例が増えている。また、廃棄物処理に関する国の方向性としては、処理施設の広域化や費用負担(有料化)を推進している。
事業に対する住民の意見	(意識調査・議会質疑等、事業に対する期待・要望・苦情など) 議会評価意見書において、ごみの減量化・リサイクル意識の向上のため販売価格の減額を進めながら事業を継続するべきという意見がある一方、市民はごみ袋の指定や有料化は望んでおらず、新しい制度を取り入れるべきとの意見もあった。

■項目別評価・今後の課題

評価項目	評価結果(該当にチェック)	判断理由・評価コメント(具体的に記入すること)
必要性 (市民ニーズ)	<input type="radio"/> ① 必要性が高い	指定ごみ袋制度は、ごみの分別収集や収集作業の効率化などの作業面だけでなく、近年の国の方向性である有料化や排出者責任の観点からも必要な制度である。
	<input type="radio"/> ② どちらかといえば必要性がある	
	<input type="radio"/> ③ 必要性が低い	
	<input type="radio"/> ④ 必要性がない	
妥当性 (市で行わなければならないか)	<input type="radio"/> ① 市が行わないといけない	一般廃棄物の処理は市町村の責務であり、その収集を安全かつ効率的に行うためにも、指定ごみ袋制度を導入している。
	<input type="radio"/> ② どちらかといえば市で実施	
	<input type="radio"/> ③ 必然性が低い	
	<input type="radio"/> ④ 必然性がない	
効率性 (事業の手法は効率よいが、コスト削減の余地はないか)	<input type="radio"/> ① 効率的である	分別収集を徹底することでリサイクル率の向上やごみの減量化に繋がり、効率となる。また、出すごみを減らそうという意識は、不要な商品購入の抑制や分別がしやすい商品の選択といった効果も期待できる。
	<input type="radio"/> ② どちらかといえば効率的	
	<input type="radio"/> ③ どちらかといえば非効率的	
	<input type="radio"/> ④ 非効率的	
緊急性 (他事業に優先し、実施する必要があるか)	<input type="radio"/> ① 緊急性が高い	生活するうえでごみの発生は避けられないものであり、その処分は迅速かつ円滑に進める必要がある。
	<input type="radio"/> ② 比較的緊急性がある	
	<input type="radio"/> ③ 緊急性が低い	
	<input type="radio"/> ④ 緊急性はない	
成果 (目的の達成状況)	<input type="radio"/> ① 成果が上がっている	指定ごみ袋制度の導入により、ごみ減量化、リサイクル率の向上、収集作業の利便性向上、ごみ減量化への啓発などの成果がある。
	<input type="radio"/> ② どちらかといえば上がっている	
	<input type="radio"/> ③ どちらかといえば上がっていない	
	<input type="radio"/> ④ 成果は上がっていない	
今後の課題	指定ごみ袋代金については、条例改正を行い平成28年7月から塵芥処理手数料と位置づけ、販売価格も20%引き下げることにした。ごみ処理費用削減のために、引き続きごみの減量化やリサイクルの推進を行う必要がある。	

■一次評価(評価点は目安とし、総合的な評価をすること)

評価	2	1 拡 充 す る	80点以上	評価点による判定	判定に至った理由	指定ごみ袋制度については、いろいろな意見はあるものの、ごみの分別収集や減量化意識の向上、収集時の安全確保等において一定の役割を果たしており、継続すべき事業である。
		2 現状のまま継続する	60~79点			
		3 改善・効率化し継続	40~59点			
		4 終期設定し終了	20~39点			
		5 完了・休止・廃止	19点以下			
				2		

■改善・効率化の方向性 ※一次評価の判定が3の時は、必ず記入すること。

【具体的な改善等取組内容(方向性・対象・手段等について記述)】
---------------------------------

■二次評価(所管担当の一次評価を、総合評価し判定すること)

評価	2	1 拡 充 す る	判定説明	指定ごみ袋の価格については、平成28年7月から値下げを行うことになったが、ごみの減量化意識の向上や家庭ごみの排出抑制などに効果が認められるので、値下げの効果を見定める必要があるが、事業としては継続すべきである。
		2 現状のまま継続する		
		3 改善・効率化し継続		
		4 終期設定し終了		
		5 完了・休止・廃止		